

静岡県消防設備保守点検業協同組合
第25回通常総会メッセージ

創立25年、そして未来へ

わが国が、新たな時代へと歩み始めた令和元年（2019年）5月、静岡県消防設備保守点検業協同組合（以下「組合」という。）は、組合設立から25回目の通常総会開催という節目を迎えています。

静岡県知事が設立を認可し、国から官公需適格組合の認定を受けた協同組合25年の歴史は、消防法が目的とする火災予防の推進を図るため、法令遵守による消防用設備等保守点検をただひた向きに実施してきた歴史であり、個人事業者を含む地域の中小企業者が単独では受注困難な官公需を、業界や業法の無い厳しい事業環境の中、共に力を合わせ業務や提供サービス等の改善努力を行い共同受注を実現することで、地域の経済や雇用確保に寄与、貢献してきた歴史です。

一方、組合及び地域の消防用設備等保守点検業者を取り巻く事業環境は、他業種からの参入拡大、原則業務再委託禁止を逸脱した再委託、無資格者による保守点検、歩掛りからは考えられないような安値受注の一般化など適正な保守点検確保への懸念が拡大し、その厳しさを増しています。また、業界としての危機管理体制づくり、高齢化し若年就業者が減少する産業人材の確保など、様々な課題も深刻化しています。

静岡県消防設備保守点検業協同組合は、設立以来、一貫して自ら課題解決に取り組むだけでなく、現場の実態や改善提案を多く方のご協力やご支援を得ながら、行政等の関係機関へ情報発信し課題解決に努めてきました。

本日、組合は組合設立25年を通過点として、共同受注の拡大・組合員への配分確保、未来における業界の確立及び業法の制定を組合活動の基本に置き、消防法が目的とする火災予防の推進、地域の安全・安心の確保、地域経済の更なる活性化のため、引き続き組合員をはじめ関係の皆様と力強く歩み続けるとともに、県内外の皆様にも組合の取組への理解と連携を幅広く呼び掛けていくことを、ここに宣言します。

令和元年5月23日

官公需適格組合
静岡県消防設備保守点検業協同組合

組合員及び組合関係者一同